

医療



登壇者名	大北 慧
役職	営業部 マーケティング担当
連絡先	029-896-6263



株式会社リーバー

設立（西暦）	2017年2月17日
本社所在地	茨城県つくば市高野1155-2
会社HP	https://www.leber.jp/
事業プラン名	医療相談アプリ「リーバー」を用い、医療過疎地に持続可能なヘルスケアシステムを構築
事業プラン概要	<p>リーバーは24時間365日スマホで医師に相談ができるアプリです。医師の負担が少なく1問あたり最短3分の回答速度を実現しています。さらにチャットボットを用いた毎日の体温と体調の報告機能が加わった学校向けプランも提供し全国の教育機関で導入が進んでいます。</p> <p>今回はこのリーバーを医療過疎地である福島県浜通り地域等15市町村に導入し、</p> <ol style="list-style-type: none">①子どもの健康を守り、教育機関の負担も軽減②医療従事者の負担を軽減③地域住民の方々に医師へのアクセス向上を提供などを目指します。 <p>①については学校向けプランの公的教育機関への導入を計画します。健康管理や予防医療に役立てて頂け保護者の安心感に繋がるのはもちろん、導入先の学校の先生の業務量削減にも寄与します。</p> <p>②及び③では、新機能の開発を予定します。</p> <p>リーバーを使って、かかりつけ医の先生に相談できるシステムを整備する事で、患者が新型コロナウイルスを過度に怖がり重症疾患の治療が遅れぬようサポートします。</p> <p>また今後保健所の発熱者相談センターから各医療機関に相談窓口が移行するコロナウイルス関連の問い合わせも、リーバーを活用する事により医療機関の負担を軽減可能です。</p>
福島/本プログラムにける想い	私は医療過疎地の新潟に生まれ、茨城で医師として成長し、西日本と都市部に偏重する医師リソースを是正するため医療相談アプリを開発しました。福島の皆様のより健康な生活を確保する一助となれましたら幸いです（代表 伊藤）。
イベントにご参加いただく方への一言	本プログラムでは、安心・安全な教育体制を確保するため、「体温・体調管理サービス」の学校への導入に主に取り組んでまいりました。一方で、24時間医師とチャットで相談できる「医療相談サービス」の方も、福島という医療過疎地に大きく貢献できる可能性があると、本プログラムを通じて再確認しました。プログラムは終了しましたが、今後もこの2つのサービスで地域に貢献していきたいと考えています。